



平成 29 年 8 月 31 日

～NCB九州活性化ファンド～
「株式会社パネル」への投資実行について

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、「NCB九州活性化ファンド」（以下「本ファンド」）において、「株式会社パネル（代表取締役社長 名越 達彦）」（以下「当社」）の第三者割当増資の引受けを行いましたので、お知らせします。

当行は、地域金融機関として、本ファンドを通じて今後の成長に向かう確かな事業性を有する九州の大手・中堅企業へ、資本であるエクイティ・優先株や、劣後ローンなどのメザニンファイナンス等の多様な金融サービスを提供することで、地域経済の更なる活性化を積極的に支援してまいります。

記

1. 対象企業の概要

| | |
|------|---|
| 会社名 | 株式会社パネル |
| 所在地 | 東京都千代田区一丁目5番1号 |
| 代表者 | 代表取締役社長 名越 達彦 |
| 設立 | 平成24年12月25日 |
| 資本金 | 600百万円 |
| 事業内容 | 電力需給管理基幹システム「Panair Cloud」（旧 Odin）の研究開発 小売電気事業者等に対する業務支援 |
| 投資形態 | 第三者割当増資 |
| 金額 | 290百万円 |

- 当社はクラウド・人工知能を搭載した電力小売供給基幹システムを活用し、新電力の運営に関する業務をワンストップで提供。オペレーションコストを削減し、電力小売供給業務の効率化を実現しています。

2. 投資の理由

（1）高い技術力

当社は日本で初めて Ruby ベース・クラウドベースの電力小売供給基幹システム「Panair Cloud」を自社で構築。クラウド・人工知能を活用し、顧客管理や需給管理、請求管理といった電力小売業務に必要な機能をワンストップで提供することで、電力小売供給業務の効率化を実現しています。

（2）成長性

高い技術力を背景に業容を拡大させており、今後の成長性が期待されます。

（3）地域経済の活性化

当社へ成長資金を供給し、事業基盤の強化を行うことで、地域経済の活性化及び雇用の創出に繋がることが期待されます。

以上

参考

『NCB九州活性化ファンドについて』

本ファンドは、多様な成長資金の供給により、地域経済の活性化・雇用の創出に資する地場企業の支援を目的に、株式会社地域経済活性化支援機構（代表取締役社長 今井 信義）、株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長 柳 正憲）と共同出資により設立しました。

1. ファンドの概要

| | |
|----------------------------------|--|
| 名称 | NCB九州活性化投資事業有限責任組合 |
| 設立日 | 平成27年1月31日 |
| ファンド総額 | 50億円 |
| 無限責任組合員 (GP: General Partner) | NCBキャピタル株式会社 |
| 有限責任組合員 (LP: Limited Partner) | 株式会社 西日本シティ銀行 株式会社 地域経済活性化支援機構 株式会社 日本政策投資銀行 |

2. 運営会社 (GP: General Partner) の概要

| | |
|-------|---|
| 名称 | NCBキャピタル株式会社 |
| 設立日 | 平成27年1月5日 |
| 株主 | 株式会社 西日本シティ銀行 株式会社 地域経済活性化支援機構 株式会社 日本政策投資銀行 株式会社 ドーガン |
| 代表取締役 | 光富 彰 (株式会社 NCB リサーチ&コンサルティング代表取締役) |

3. ファンドスキーム図

